



2022年4月27日

各位

会社名 兼松サステック株式会社
代表者名 代表取締役社長 小泉 浩一
(コード番号 7961 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役本社部門統轄 酒井 泰治
(電話番号 03-6631-6600)

サステナビリティ取組方針の策定に関するお知らせ

当社は本日公表いたしました2023年3月期からの3ヵ年の「中期経営計画」において「サステナビリティ経営の推進」を表明しておりますが、ここに「サステナビリティ取組方針」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. サステナビリティ取組方針













当社名の「サステック (Sustech)」とは、技術で社会をサポートする (Support our society with technology) との思いを社名に込めています。

この名のとおり、「ジオテック」「木材・住建」「CCTV システム」の主力3事業で見えないけれども大切な、安心・安全を技術で支え、社業発展を通じて社会に貢献してまいります。

その取り組みにあたっては、SDGs の考えを取り入れた「企業理念」、「信条」ならびに「企業行動基準」に基づき、お客様、お取引先、株主・投資家、従業員、地域社会などすべてのステークホルダーとの対話を尊重し、持続可能な社会の実現に積極的な役割を果たすとともに、企業価値向上を目指してまいります。

2. 対処すべき課題 (マテリアリティ) ～安心・安全を技術で支え、社会に貢献いたします～

「いつまでも安心して暮らせる環境」のため地盤分野のリーディングカンパニーとして社会に貢献する「ジオテック事業」、優しさやあたたかさ・安らぎを人々に与えてくれる「木」の長期有用化に寄与する「木材・住建事業」、セキュリティとマーケティングにAIを活用して実現し安全をお届けする「CCTVシステム事業」の主力3事業を中心に、当社独自の技術で社会に貢献します。

社会的要請	施策	関連するSDGs
最適な工法で地盤改良を行い、安心・安全な街づくり	地盤に最適な工法を提供し、安心して生活のできる環境づくりの取組み	   
安全で安らぎを感じる持続可能な都市および居住空間の実現	公的に安全基準を満たした認定薬剤を用いた保存処理木材の販売を通じ、都市の木質利用における長寿命化に貢献し第2の森林形成を担う	  
セキュリティが高く、安心・安全の街づくりに貢献する	監視カメラシステムをメインとするシステムを提供し安心して住み続けることができる街づくりを実現する	
環境配慮型の事業運営ならびに、人権尊重と人材育成への取組み	オフィス、工場等で環境配慮型の事業運営を目指すと同時に、サステナビリティ経営を支える人材への取組	   

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



サステナビリティ取組方針

2022年4月27日
兼松サステック株式会社

1. サステナビリティ取組方針

当社名の「サステック (Sustech) 」とは、技術で社会をサポートする(Support our society with technology)」との思いを社名に込めています。











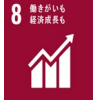

この名のとおり、「ジオテック」「木材・住建」「CCTVシステム」の主力3事業で見えないけれども大切な、安心・安全を技術で支え、社業発展を通じて社会に貢献してまいります。

その取り組みにあたっては、SDGsの考えを取り入れた「企業理念」、「信条」ならびに「企業行動基準」に基づき、お客様、お取引先、株主・投資家、従業員、地域社会などすべてのステークホルダーとの対話を尊重し、持続可能な社会の実現に積極的な役割を果たすとともに、企業価値の向上を目指してまいります。

2. 対処すべき課題

1) マテリアリティ ～安心・安全を技術で支え、社会に貢献いたします～











「いつまでも安心して暮らせる環境」のため地盤分野のリーディングカンパニーとして社会に貢献する「ジオテック事業」、優しさやあたたかさ・安らぎを人々に与えてくれる「木」の長期有用化に寄与する「木材・住建事業」、セキュリティとマーケティングにAIを活用して実現し安全をお届けする「CCTVシステム事業」の主力3事業を中心に、当社独自の技術で社会に貢献いたします。

社会的要請	施策	関連するSDGs
最適な工法で地盤改良を行い、安心・安全な街づくり	地盤に最適な工法を提供し、安心して生活のできる環境づくりの取組み	   
安全で安らぎを感じる持続可能な都市及び居住空間の実現	公的に安全基準を満たした認定薬剤を用いた保存処理木材の販売を通じ、都市の木質利用における長寿命化に貢献し第2の森林形成を担う	  
セキュリティが高く、安心・安全の街づくりに貢献する	監視カメラシステムをメインとするシステムを提供し、安心して住み続けることができる街づくりを実現する	
環境配慮型の事業運営ならびに、人権尊重と人材育成への取組み	オフィス、工場等で環境配慮型の事業運営を目指すと同時にサステナビリティ経営を支える人材への取組み	   

2) 中期目標の設定





目標①：事業活動を通じて環境と人に優しい社会の実現に寄与します【環境、社会】

CO₂を蓄積した木材を長期有用化し活かすこと、木質利用を促進することでCO₂排出量の削減に努めます。
またセキュリティカメラにより安心・安全な街づくりに努めます。

社会的要請	施策	目標	関連するSDGs
環境にやさしい地盤補強工法の普及	木材を使用した「環境パイル工法」の拡販ならびに新工法の開発	2030年までに環境パイル工法の施工実績15,000棟/年、CO ₂ 削減貢献量：年間150,000t(21年度の300%UP)	   
環境にやさしい木材の長期利用の促進	都市の木質利用における長寿命化に貢献し第2の森林形成を担う	2030年までに保存処理木材販売による長期的なCO ₂ 固定：年間40,000t(21年度の27%UP)	  
安心できる街づくり	安心安全のセキュリティカメラシステムを導入することによって安心・安全な街づくりに貢献する	2030年までにセキュリティカメラシステム導入件数の増加(21年度の180%UP)	
脱炭素社会に貢献するオフィス環境の構築	オフィスでのLED使用、社有車やフォークリフトの環境配慮型車両への転換	2030年度迄に全オフィスおよび工場のLED化、全社有車を環境に配慮した車両へ転換	 

目標②：人材を尊重し、育成します【社会】

新しい技術や工法は多様性のある活気に満ちた職場から生み出されるとの信念のもと、個人の属性や価値観を尊重し、個々人の能力を最大限発揮できる環境を整備します。

社会的要請	施策	目標	関連するSDGs
従業員の多様性の確保	女性活躍促進による多様性確保	2030年：女性従業員比率40%	 
		2030年：女性管理職比率10%	
	障がい者雇用の取組	2025年：障がい者雇用を2.3%以上	
	男性の育児休業取得率	2025年：取得率100%	
従業員の成長支援	研修制度の拡充	階層別教育および管理職候補となる人材の育成	 
	学びなおし支援	資格取得や知識習得に意欲的な社員向けの支援制度の構築	

目標③：経営基盤を強化します【ガバナンス】

法令や規則の遵守、透明性や質の高いガバナンス体制ならびに、それをインフラの確立は、事業を通じた社会課題の解決や持続的成長への礎であり、一層の強化を図ります。

社会的要請	施策	目標	関連するSDGs
経営基盤の強化	コンプライアンス教育の実施	教育機会の増加	 
	ガバナンスの強化	取締役会の活性化	
	セキュリティ基盤の強化	セキュリティ基盤の構築と教育実施	

目標④：研究開発、DXを全社的に推進します【研究開発、DX】

新技術・新工法の開発は当社のビジネスモデルには必須であり、外部機関との協業を含め研究開発を推進します。またビジネスモデル変革ならびに業務フロー改革を推進にあたり、デジタル化への対応を進めます。

社会的要請	施策	目標	関連するSDGs
新技術・工法の開発、効率化	大学等専門機関との共同研究活発化	提携機関、件数の増加	 
	デジタルリテラシーの高度化	研修等を通じてDX人材を養成	

各事業部の取組：ジオテック事業部



環境パイル工法

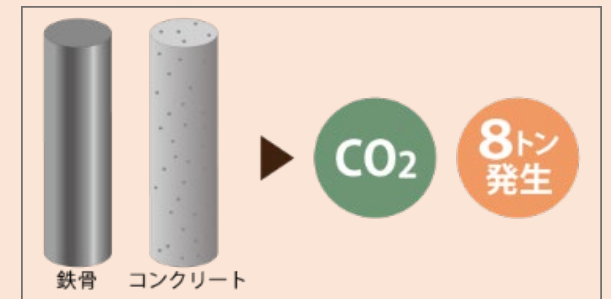
木材を利用した地盤補強「環境パイル」で地中に炭素貯蔵
～森林を地中に～



「環境パイル工法」とは、高品質な防腐・防蟻処理による高耐久性を確保した木材を使用した地盤補強工法です。「環境パイル工法」は、間伐材を含む国産木材を使用しており、部材に関してはエコマークも取得しています。又「環境パイル工法」として第三者認証も取得しており、2022年3月末時点で環境パイル(S)工法協会を通じて、累計棟数38,000 棟を達成しています。

具体的施策

例えば、平均的な住宅においてセメントや鉄を用いた地盤補強工法を採用した場合、約8トン／棟のCO₂が発生すると推定されます。これに対し『環境パイル工法』に利用する木材は、その成育過程において4m³／棟の使用換算で約2トン※のCO₂を吸収することから、1 棟あたりCO₂を約10トン削減できます。更に六価クロム等の環境汚染の心配もありません。2030年度には15,000棟／年を計画していることから年間150,000tのCO₂削減を目指します。



※ IPCCのLULUCF-GPGに基づき算出

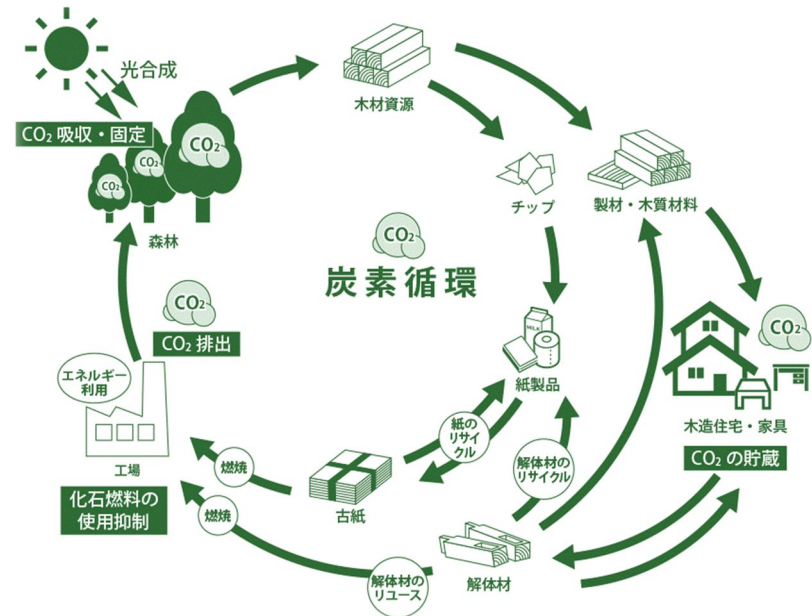
各事業部の取組：木材・住建事業部

住まいと環境を支える「木材」の力

木のもつやさしさ、ぬくもり、やすらぎは、高度に発達した現代においても何物にも代え難い存在です。木は人にも環境にもやさしい天然素材であり、地球温暖化防止に必要な不可欠なCO₂の固定・蓄積を担っています。しかしながら木は何もなければ腐朽・シロアリの害を受けてしまうという欠点があります。

木材・住建事業部は、木材が持っている本来の魅力を活かしつつ、「木」の特性はそのままに、耐久性向上を実現する木材保存処理、「木のある暮らし」を後世に繋ぐ研究開発、「木」に対して多様な技術で貢献する木材保存処理装置など、独自の技術によって木材のポテンシャルを高め、貴重な資源を有効利用する事業に努めております。

これからも人々の暮らしに自然と寄り添えるように、私たちは進化を続けていきます。



木材・住建事業部では木材のCO₂貯蔵量の計算手法のうち、温室効果ガスの排出・吸収量算定のガイドラインとされているIPCCのLULUCF-GPGに基づき算出し、都市でのCO₂貯蔵量を定量的に評価しています。今後も環境に配慮した保存処理木材の拡販に努め、都市部に第2の森林形成に貢献していきます。

2021年度：29,131t-CO₂ ▶ 2030年度：40,000t-CO₂

都市におけるCO₂固定量：27%アップ



世界最大級の乾式木材保存処理装置

国立競技場にも当社保存処理技術で貢献
【写真提供：大成建設株式会社】

各事業部の取組：CCTVシステム事業部

安心安全のセキュリティカメラシステムを導入することによって、
安心安全の街づくりに貢献します

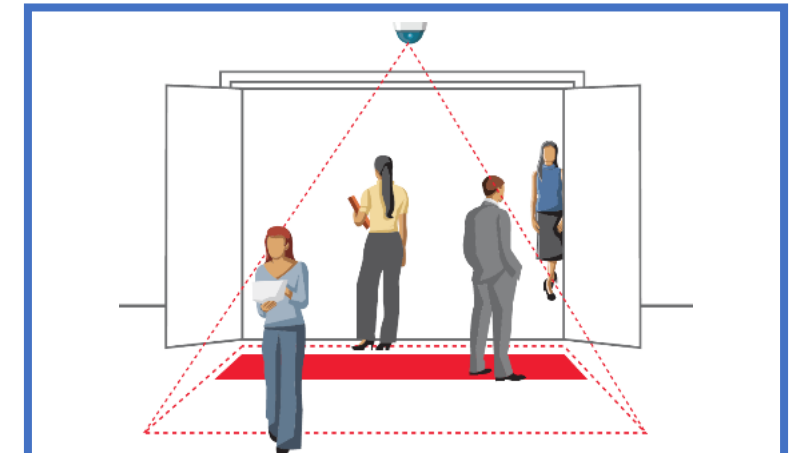


世界シェアNo.5のハンファテックウィンの
日本正規代理店



マスク/メガネ
顔(年齢層、性別)
車種、色(普通車、トラック等)
服の色
カバン
ズボンの色

AIシステムで人や物を認識し、
色や特徴から瞬時の検索が可能



指定したエリアに出入りした人数を
確認することが可能

セキュリティカメラシステムは**24時間365日休まず稼働**し続けるため安定した監視ができ、撮影した映像を記録し正確な証拠として活用することが可能となり安全な街づくりを実現します。

また、犯罪や迷惑行為への抑止効果のみならず、AIシステムにより来店者数の確認・混雑検知・導線分析などの**マーケティング活用**や、特定エリアへの侵入検知・不審者検知・人物/車両検出などの**効率的な防犯**に活用できます。

セキュリティカメラシステムを導入することにより安心安全の住みやすい街づくりに貢献します。

2030年までに売上、導入件数180%アップを目指します。

見えないところに、心を込めて。



兼松サステック株式会社